

平成 21 年 12 月 15 日

各 位

株 式 上 組  
会 社 名 株 式 上 組  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 久 保 昌 三  
社 長  
(コード番号 9364 東証・大証市場第 1 部)

### 上組神戸空港島ロジスティックセンター - 本格稼動についてのお知らせ

掲題に関しまして、当社が神戸空港島に初めて進出し建設しておりました「上組神戸空港島ロジスティックセンター - (略称：KALC)」が完成し、12月16日に竣工式を執り行い本格稼動致します。当該倉庫は陸海空一体型の最新鋭大型物流施設となり、神戸港で新たに輸出入貨物の東南アジア・欧米等のゲートウェイとして多目的倉庫機能を備えております。新倉庫概要につきましては別紙に添付させて戴いておりますのでご参照願います。

つきましては下記要領にて竣工式を執り行いますので各位ご参集方お願い申し上げます。

#### 記

##### 「竣工式要領」

竣工式日時：平成 21 年 12 月 16 日 (水曜日) 11 時

1. テ - プカット 11 : 00 ~ 11 : 10
2. 神事 11 : 15 ~ 11 : 45
3. 直会 11 : 45 ~ 12 : 45
4. 初入荷式 13 : 00 ~ 13 : 15

場所：神戸市中央区神戸空港 3 番

問合せ先：国際物流事業本部

管理課長 森下 佳典

電話：078-271-5159

以上

## 上組神戸空港島ロジスティックセンター - (略称KALC) 倉庫概要

この度、当社（久保昌三社長）は総合物流事業を強化する為神戸空港島に建設中の陸海空一体型の最新鋭大型物流施設「上組神戸空港島ロジスティックセンター」(略称KALC)の竣工式を12月16日に迎え本格稼働させます。新たに輸出入貨物の東南アジア・欧米等のゲートウェイとして梱包、保管、通関、流通加工、輸配送などに活用します。また、空港島に物流業者として進出したのは当社が初めてとなります。

当施設は4階建ての延べ床面積2万7337平方 $\text{m}^2$ で、空港島の保管施設用地（1万6137平方 $\text{m}^2$ ）を取得、整備しました。既に物流総合効率化法の計画認定を取得済みであり、前面には内貿バース（水深7・5 $\text{m}$ ）を持つ埠頭用地があります。

施設規模の内訳は、荷捌き・保管施設が2万1087平方 $\text{m}^2$ 、流通加工施設が2078平方 $\text{m}^2$ 、事務所・庇下などその他が4171平方 $\text{m}^2$ 。保管施設では2階に精密機器関連貨物対応の定温倉庫（約2000平方 $\text{m}^2$ ）も設営。主な取扱予定貨物はOA機器のトナー、液晶用のフィルム、プラント機器類、工作機械、船用・自動車用部品、雑貨類など多種多様な品目に対応できる多目的倉庫機能も備えております。

施設の特徴の1つが梱包工場機能。天井クレーンは親子型（20 $\text{t}$ ・5 $\text{t}$ 吊り）1基と20 $\text{t}$ 吊り1基の計2基を設置し重量貨物梱包に対応、またリタナブルを想定し段ボールのマルチ・カッティング機器を1基導入、荷主の多様なニーズに対応可能となりました。環境負荷軽減では省エネ効率の高いエアコンやLED照明といった機器の導入も特徴の1つであります。

ウェブ対応のWMSは従来システムを機能アップ。「スペースの効率化」や「適正在庫・作業内容分析」につなげるため、WMSで基本となる入出荷、在庫、棚卸、貨物追跡、流通加工、配車管理といった情報に加え、NACCS、船社や陸送会社との情報のやり取りを可能にする汎用プラットフォーム型としました。

当社は3PL展開など総合物流事業強化の一環としてKALCを活用し、荷主へ環境負荷軽減に向けたCO<sub>2</sub>削減と物流費軽減を積極的に提案してゆきます。

平成21年12月吉日

株式会社 上組



KAMIGEMI



組上組  
株式会社